

集落活動センターの整備

共助態勢構築が最大の理念



やま さ き ま さ お 議員
山崎 正男

認識している。

施設の運営は地域間で、しっかりと共助態勢が構築できることが最大の理念であり、要望があったことでも、行政としてやりたい感情はあってもがまんすべき所もある。地域の方とか、またご利用者の方と協議をしながら、より良い運営に努めていきたい。

問 集落活動センター北郷にトイレと風呂が設置されたが、雨天対策や利便性を考慮して、どう改善していくのか。また、どう運営をするのか。

答 武政 総務課長

風呂の設置ではシャワーの増設、転倒防止のための手すり、そしてステップも取り付ける予定であり、ある程度の利便性と安全性が図られると思っている。風呂施設とセンターの間には雨避けがないので、何らかの対策は必要だと

いことから、今のところ具体的な改善の構想はない。

地域の集会所などに出向く、サテライトサービスについても実施するよう検討を行い、利用者が快適に過ごせる場所、サービスの提供ができるよう努めていきたい。

問 デマンドバス運行とあつたかふれあいセンターの運用策について、日常生活の支援策として地域住民のためどのような活用を考えているのか。

答 宮川 健康福祉課長

公共交通とあつたかふれあいセンターとの連携、あつたかふれあいセンターの外出支援の運営の方向性、町内の交通網の将来構想の検討などについては、健康福祉課一課ではなく庁舎全体で検討し、将来を見越した方向性としなければならぬと考えている。

津波対策

本年度事業は
順調か

班別会で
進捗状況報告

問 本年度の各地域の津波対策事業は順調に進行しているか。年度内に完成予定はどれだけか。

答 松本 情報防災課長

平成25年度町単独事業で、避難タワー4カ所。(町地区、浜の宮地区、早咲地区、横浜

地区) 避難道54カ所。

まちづくり課の避難道3カ所、タワー1カ所。(万行地区) 海洋森林課の避難道3カ所。(城山、町分駐車場裏山、会所集落道) 合計、避難道で60カ所、タワー5カ所が完成する予定で、事業の進捗よく状況については、津波避難の班別懇談会等の中で随時中間報告させていただいている。

その他の質問

※保育所の移転について



保育所や文教施設の高台移転をどう考える
(佐賀小学校の裏山風景)